

暁鐘成墓

暁鐘成墓

あかつきのかねなるはか

分野／部門

記念物／史跡

所有者

宗教法人 勝楽寺(しょうらくじ)

所在地

大阪市北区大淀中 4

紹介



江戸時代後期の大阪の代表的な地誌『摂津名所図会大成』『天保山名所図会』の著者である暁鐘成は、寛政 5 年(1793)に京町堀の商家和泉家に生まれ、万延元年(1860)に没した。姓を木村、法名は道観と号す。

商いに勤しみながら、詩歌をよくし、地誌を編んだ。墓石は木村家一族代々のもので、砂岩製である。

台石は花崗岩製である。

天明 6 年(1786)の建立で、代々の名を両側面と背面に追刻している。

鐘成の名は背面右下方にあり、「鐘成翁至 釈道観」と記される。